

大海集

下

愛媛大學
古典叢刊

18

大海集

下

へ ぼ
秋 秋
下 上

愛媛大学 古典叢刊 18

大海集 下

昭和五十七年十月十日発行

編者 和田 茂 樹

刊行 愛媛大学法文学部国語国文学研究室内
愛媛大学 古典叢刊刊行会

松山市文京町三

印刷所 有限会社 青葉図書印刷部

松山市小栗六丁目三一二三

790 松山市小栗六丁目三一二三
発行所 青葉図書

電話(〇八九九)四三一六一六五
振替 徳島 六二一〇

凡 例

一、大海集は、伊予宇和島藩家老桑折宗臣の撰したもので、「寛文十二^二年^三歲七月上旬小亀益英開板」七冊本であつたと思われる。

一、本書は、伊丹市の岡田柿衛文庫蔵本を影印、百分の七十二の大ききとした。

一、上巻には春下・夏上を、下巻には秋上・秋下を収め、秋下の二丁（廿五丁・三十丁）は佐々木文庫蔵本をもつて補った。

一、全巻については、別に〔翻刻編〕として、謄写本に基き刊行する。

目次

大海集 上

卷之二 ろ 春下……………一

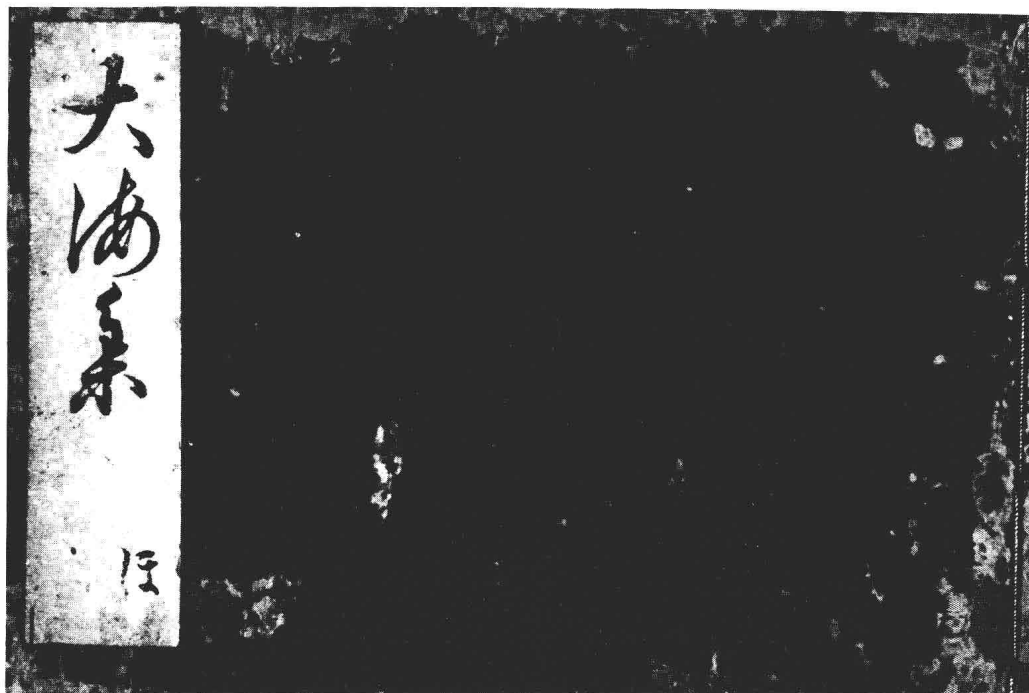
卷之四 に 夏下……………一二七

大海集 下

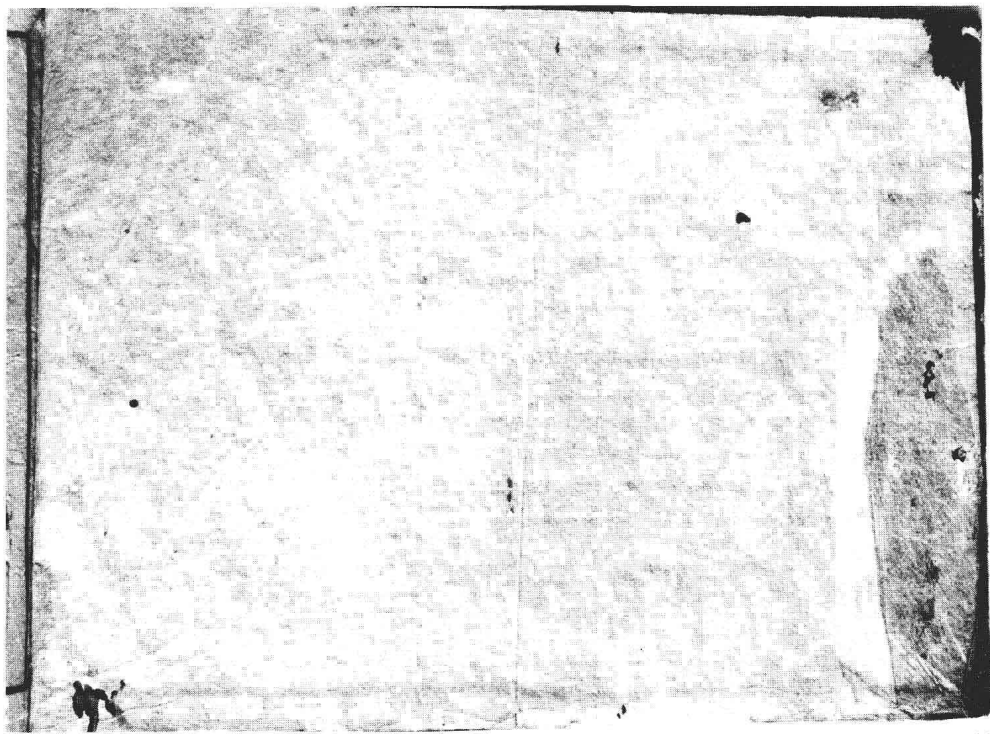
卷之五 ほ 秋上……………一

卷之六 へ 秋下……………八七

解説……………一七一



表紙



見返

大海集卷之五

秋上題

立秋

殘暑

一葉

桐付秋柳
梔一葉

萩

秋扇

文月

七夕

燈籠

仙翁花

萩

女郎花

桔梗

朝顏

菫菜

木槿

刀豆弁瓢

鴉丸

秋螢

秋蚊

秋蟬付蛸

露

旁

躍

花火

盆帷子

盆月

活汚龜

聖靈會

付送火

招待

相接

稻妻

秋田

付僧都
安山子

康

虫

旋覆花

蘭

紫花

芭蕉

雞頭花

草花

蒲萄

燕覆

刈萱

薄

并尾花

葛

芋

峯入

江鮭

付鮭

初鯿

鯿釣

司召

初塩

大海集卷之五

秋上

五秋 甘秋風

お村公季吟

京住

秋やけと露少く風をくくつたら

西村公可政

号吉竹
大坂住

秋さあくと風鈴ややつさ

渡邊氏之也

尾羽老古庵住

思ひや秋涼やれ今朝の秋

去波氏近之

一曲子
江戸住

秋涼残暑もくくけさの秋

井上氏正彰

大坂住

初秋やうくくけさの秋

西田氏臣常

也山子
兼新倉原

夕月れ硯の水々今朝の清也

岩崎氏林邑

聖子

夕月の影さそくかれやけされ秋

水村氏季吟

京佳

風もえて男れ毛もそりやけされ秋

細見氏幸入

紅子佳

風邪やちりて實れいふけされ秋

葛城氏女清子

千里氏心松安

風の子や傷さるまふ今秋の秋

畠田氏悦春

大森佳

凡の口も阿呷の所也今朝の秋

山縣氏不競

常利氏大佳

秋とけさるものそめぬや風の色

西田氏臣常

夕月成りてさう今朝れ凡の口

金田氏良也

紅子佳

秋を告ぐまづ海や風のほう

形多氏務政

宗厚居士
江戸住

風なりて誰うわくるらん秋の白

渡邊氏之也

名譽住

秋もけさなりそまづ風の香

栗形氏正親

京住

秋を告ぐ海やわづらひる色

中山氏純候

大坂住

風も秋もけさなりそまづ風の

初秋の心

澁谷氏重信

江戸住

秋の夜も来りし来りし

延沢氏和後

破扇子
江戸住

むえき海や肌もけさなりそまづ秋

若氏永重

堺住

来りしや扇のゆき海秋の風

兼折公宗臣

秋凡と元堅け緒やたらこ

渡多公徳輝

渡多公徳輝

海の鼓うりや一色の秋れりせ

阿多子公別成

堀佳

秋凡の吹あけにきりや砂りり

加藤公正弥

月弓れ弦きなりや秋れ凡

度漢公賢

与羽大何佳

色にのまきんたのこく秋の凡

強暑

加藤公正弥

秋凡に只はききせぬ強暑きり

丹羽公光辰

丹羽公光辰

水音月れりりし海の暑きり

鈴木公重良

吐契

名古屋王

群きめて額も痛付あつと糸
一糸

阿知子成成 界住

秋も今朔新し母の一糸糸

渡さ成之也 魚屋

むとほむ舟一糸糸秋のつと

一糸のちもるるや枝もつとさ舟

も井成宜 志柳子
江戸住

月れるやううや河の一糸舟

副村成重層 遊言子
板前湯出住

一糸のちれ凄うそもり乃乃

相原成清

塵場二糸れあひの凄わ那

柳原成清方

一糸の舟とやむくの山れろ

奥澤成宗重 斧住

一葉舟出のしるれ手竿舟

案折氏宗臣

是ら又た凡に出のや一葉舟
毛井にふく一葉や帆上げ舟

去政氏近之

一曲子
江ノ住

鯉の舟一葉や鮎と所々の舟

渡邊氏之也

名古屋住

一葉や鯉れ多もくもやの舟
ふれゝあたけ舟一葉や捨舟
ふれゝふれ舟をれ一葉や舟扱

井口氏如負

大塚住

一葉やふれゝめて舟にたりせ舟

小畑氏松縁

大塚住

一葉れらうくさ舟や舟代

古田氏一玄

一葉やの舟りふれ舟のそり舟

牧野氏重之

三列年木佳

庭前茂舟入と云ふ一葉の舟

小舟木氏春林

春林在

庭前茂舟入と云ふ一葉の舟奉行

西田氏臣常

庭前茂舟入と云ふ一葉の舟奉行

柳原氏清芳

庭前茂舟入と云ふ一葉の舟奉行

中山氏純信

大柱

庭前茂舟入と云ふ一葉の舟奉行

庭前茂舟入と云ふ一葉の舟奉行

兼氏友也

藏松在

庭前茂舟入と云ふ一葉の舟奉行

桐 竹秋那 純一系

吉長氏信元

信元

庭前茂舟入と云ふ一葉の舟奉行

渡邊氏之也

糸屋住

落部中より桐とある一葉より

中西氏經光

堺住

桐の家や井向にけり、桐の家

安間氏連等

藤原長嶋住

けり、ありの影の家や桐は其ど

加藤氏三跡

多葉や桐の家よりけり、桐の家

一葉の舟れなるや桐はけ

生田氏修世

江戶住

一葉の舟れなるや桐はけ

吉田氏信章

備中

未のころいへん柳の一葉の

戸田氏孝房

不學子

一葉の舟れなるや桐はけ

松平氏直頼

江戶住